

御社名 _____

【問合せ先】農林水産省農産局穀物課
佐々木、廣谷 TEL (03) 3502-8111 (内線: 4846)

【質問項目】

- 1 令和2年(R2年1月~12月)の黄大豆の取扱量(販売量、使用量等)と取扱の多い上位品種についてお聞かせください(概数でもかまいません)

	合計	うち国産	うち輸入
大豆取扱量	t	t	t

国産大豆の品種別内訳(上位5品種)

	品種名	取扱量	希望価格	希望価格で購入可能な場合の 購入希望量
1位		t	円/60kg	t
2位		t	円/60kg	t
3位		t	円/60kg	t
4位		t	円/60kg	t
5位		t	円/60kg	t

- 2 取扱量の見通し: R2年の取扱量を基準とし、今後の増加/減少の見込みを比率でお答えください(例: 例えば「5%増」と記入してください)

	全大豆(輸入+国産)	国産大豆
今年(R3)	%	%
来年(R4)	%	%
5年後(R8)	%	%

- 3 大豆の使用割合を用途別にお聞かせください(概数でもかまいません)

○豆腐(%) ○味噌(%) ○醤油(%) ○煮豆(%)
○納豆(%) ○豆乳(%) ○その他(品目:) (%)

- 4 国産大豆の調達方法とその使用割合についてお聞かせください

播種前入札(%): 収穫後入札(%): 契約取引(%): 相対取引(%)

- 5 今後、増産を希望する産地についてお聞かせください(複数選択可)

※□は、クリックすると変わります(もう一度クリックすると元に戻ります)。

北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中四国 九州

- 6 現在、収量の安定化に向け多収(既存品種の1.5倍以上)中粒品種が開発されていますが、品種の切替えに必要な条件についてお聞かせ下さい(複数選択可)

価格が安定すること 産地品種銘柄で大ロットで確保出来ること
品質が安定すること 機能性成分など付加価値があること
大粒でなければ購入しない

次のページに続きます

